

## ラグビーワールドカップ 2019 日本大会開催中、参加国からの輸入例の可能性がある感染症

2019年9月13日

2019年10月2日更新

国立感染症研究所 感染症疫学センター  
国立国際医療研究センター 国際感染症センター

2019年9月20日～11月2日の期間においてラグビーワールドカップ2019日本大会が日本各地で開催されます。開催にあたり、参加国を中心とする海外の国や地域から、ラグビー観戦を目的とする訪日客の増加、試合会場やキャンプ地周辺への人の往来の増加が見込まれます。そのため、麻疹・風疹など国内外で流行を認めている感染症の広い地域での流行や、国内ではまれ、または報告されていないために診断が容易でない感染症が発生する可能性があります。本資料は、感染症を疑う患者を診察する際に、診断や対策を考えるうえで参考となるよう、参加国別に、その国で感染する可能性のある疾患リストを作成しました。疾患は、大会開催中に日本で発症する可能性のある主に急性の経過をたどる感染症を中心にとりあげています。また、国外でも稀な感染症のため、日本では行政検査を含め、一般的に検査方法が確立していない疾患に関しても基本的に除外しましたが、重症となることが稀ではないものについては掲載しました。

※略語について以下のように表す。

- (1) = 全数報告対象の1類感染症
- (2) = 全数報告対象の2類感染症
- (3) = 全数報告対象の3類感染症
- (4) = 全数報告対象の4類感染症
- (5) = 全数報告対象の5類感染症
- (定) = 定点報告対象の感染症
- (-) = 届出の対象でない感染症

※特別な記載がない限り以下の定期予防接種対象疾病（下記、A類疾病およびB類疾病）と一部の任意予防接種対象疾病（流行性耳下腺炎(定)およびロタウイルス感染症(-)）は除く。

定期予防接種対象疾病（A類疾病およびB類疾病）

急性灰白髄炎(2)、結核(2)、ジフテリア(2)、日本脳炎(4)、B型肝炎(5)、破傷風(5)、百日咳(5)、風しん(5)、麻しん(5)、水痘(定、入院例-5)、インフルエンザ(定)、肺炎球菌感染症(侵襲性-5)、ヒトパピローマウイルス感染症(-)、Hib(ヘモフィルスインフルエンザ菌b型)感染症(侵襲性-5)

## アメリカ

### アメリカ合衆国（※グアム、プエルトリコ等の海外領土は含まない）

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	ペスト(1)、ウエストナイル熱(4)、回帰熱(4)、Q熱(4)、コクシジオイデス症(4)、ジカウイルス感染症(4)、西部ウマ脳炎(4)、チクングニア熱(4)、デング熱(4)、東部ウマ脳炎(4)、ハンタウイルス肺症候群(4)、ライム病(4)、ロッキー山紅斑熱(4)、アナプラズマ症(-)、エーリキア症(-)、クリプトコッカス・ガッティ( <i>Cryptococcus gattii</i> )感染症(5)、セントルイス脳炎(-)、ヒストプラスマ症(-)、ポワサン脳炎(-)、ラクロス脳炎(-)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	狂犬病(4)

## アルゼンチン

常在または季節的流行を常に認めるもの	細菌性赤痢(3)
地域的・散発的な流行を認めるもの	ジカウイルス感染症(4)、チクングニア熱(4)、デング熱(4)、ハンタウイルス肺症候群(4)、アルゼンチン出血熱(南米出血熱-1)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	腸チフス(3)、A型肝炎(4)、黄熱病(4)、狂犬病(4)

## ウルグアイ

常在または季節的流行を常に認めるもの	細菌性赤痢(3)
地域的・散発的な流行を認めるもの	ハンタウイルス肺症候群(4)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	腸チフス(3)、A型肝炎(4)、狂犬病(4)

## カナダ

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	ウエストナイル熱(4)、ハンタウイルス肺症候群(4)、ライム病(4)、クリプトコッカス・ガッティ( <i>Cryptococcus gattii</i> )感染症(5)、ポワサン脳炎(-)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	狂犬病(4)

## アフリカ

### ナミビア

常在または季節的流行を常に認めるもの	結核(2)(高まん延国)、コレラ(2)、細菌性赤痢(3)、アメーバ赤痢(5)
地域的・散発的な流行を認めるもの	クリミア・コンゴ出血熱(1)、デング熱(4)、マラリア(4)、E型肝炎(4)、アフリカ紅斑熱(-)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	腸チフス(3)、A型肝炎(4)、狂犬病(4)、侵襲性髄膜炎菌感染症(5)

### 南アフリカ

常在または季節的流行を常に認めるもの	結核(2)(高まん延国)、コレラ(3)、細菌性赤痢(3)、アメーバ赤痢(5)
地域的・散発的な流行を認めるもの	クリミア・コンゴ出血熱(1)、マラリア(4)、リフトバレー熱(4)、アフリカ紅斑熱(-)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	腸チフス(3)、A型肝炎(4)、狂犬病(4)、侵襲性髄膜炎菌感染症(5)

## オセアニア

### オーストラリア

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	Q熱(4)、デング熱(4)、ヘンドラウイルス感染症(4)、類鼻疽(4)、レプトスピラ症(4) クイーンズランドマダニチフス(-)、バーマ森林ウイルス感染症(-)、ロスリバーウイルス感染症(-)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	特になし

### サモア

常在または季節的流行を常に認めるもの	細菌性赤痢(3)、チクングニア熱(4)、デング熱(4)、ジカウイルス感染症(4)、アメーバ赤痢(5)、ジアルジア症(5)
地域的・散発的な流行を認めるもの	特になし
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	腸チフス(3)、A型肝炎(4)

### トンガ

常在または季節的流行を常に認めるもの	細菌性赤痢(3)、ジカウイルス感染症(4)、チクングニア熱(4)、デング熱(4)、アメーバ赤痢(5)、ジアルジア症(5)
--------------------	--

地域的・散発的な流行を認めるもの	特になし
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	腸チフス(3)、A型肝炎(4)

## ニュージーランド

※麻疹(5)

2019年9月30日時点で、2つのアウトブレイクが発生中。2019年の累積報告数は1541であり、うち20代を中心とした成人層が約50%を占めている。

[https://surv.esr.cri.nz/PDF\\_surveillance/MeaslesRpt/2019/WeeklyMeasles09302019.pdf](https://surv.esr.cri.nz/PDF_surveillance/MeaslesRpt/2019/WeeklyMeasles09302019.pdf)

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	特になし
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	特になし

## フィジー

常在または季節的流行を常に認めるもの	細菌性赤痢(3)、ジカウイルス感染症(4)、チクングニア熱(4)、デング熱(4)、レプトスピラ症(4)、アメーバ赤痢(5)、ジアルジア症(5)
地域的・散発的な流行を認めるもの	特になし
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	腸チフス(3)、A型肝炎(4)、侵襲性髄膜炎菌感染症(5)

## ヨーロッパ

※麻疹(5)

2019年8月時点で、ヨーロッパ全体で麻疹が流行しているため注意が必要です。2019年8月29日にはイギリスを含む4ヶ国が麻疹排除地域の認定を喪失しております。

(World Health Organization(WHO), European Region loses ground in effort to eliminate measles, 2019-08-29,

<http://www.euro.who.int/en/media-centre/sections/press-releases/2019/european-region-loses-ground-in-effort-to-eliminate-measles>¥)

## アイルランド

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	特になし
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	特になし

## イタリア

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	ウエストナイル熱(4)、チクングニア熱(4)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	ダニ媒介脳炎(4)

## イングランド、スコットランド、ウェールズ（※イギリス領インド洋地域等の海外領土は含まない）

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	特になし
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	特になし

## ジョージア

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	クリミア・コンゴ出血熱(1)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	A型肝炎(4)、狂犬病(4)

## フランス（※ニューカレドニア、仏領ポリネシア等の海外領土は含まない）

常在または季節的流行を常に認めるもの	特になし
地域的・散発的な流行を認めるもの	ウエストナイル熱(4)、チクングニア熱(4)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	ダニ媒介脳炎(4)

## ロシア

常在または季節的流行を常に認めるもの	結核(2)（高まん延国）、細菌性赤痢(3)
地域的・散発的な流行を認めるもの	クリミア・コンゴ出血熱(1)、オムスク出血熱(4)、回帰熱(4)、炭疽(4)、マラリア(4)、ライム病(4)、ポワサン脳炎(-)
常在しているため、この国への渡航に際しワクチン接種が推奨されるもの	A型肝炎(4)、狂犬病(4)、ダニ媒介脳炎(4)

### 参考文献：

西條政幸. グローバル時代のウイルス感染症. 日本医事新報社. 2019, 296p

Bennett, John E. et al. Mandell, Douglas, and Bennett's Principles and Practice of Infectious

Diseases. 8<sup>th</sup> edition. Elsevier Health Sciences. 2014, 3904p

外務省, 海外渡航・滞在 世界の医療事情, 2018-10-1,

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/> (参照 2019-08-30)

厚生労働省検疫所, FORTH,

<https://www.forth.go.jp/index.html> (参照 2019-08-30)

国立感染症研究所,

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/> (参照 2019-08-30)

東京都感染症情報センター

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/> (参照 2019-08-30)

Centers for Disease Control and Prevention (CDC),

<https://www.cdc.gov/> (参照 2019-08-30)

GIDEON Informatics, Inc., GIDEON,

<https://www.gideononline.com/2019/04/03/kunjin-virus-infection/> (参照 2019-08-30)

National Health Scotland (NHS), fit for travel,

<https://www.fitfortravel.nhs.uk/home> (参照 2019-08-30)

ProMED-mail, International Society for Infectious Diseases,

<https://www.promedmail.org/> (参照 2019-08-30)

Public Health England (PHE), Guidance: rabies risks in terrestrial animals by country, 2019-05-01,

<https://www.gov.uk/government/publications/rabies-risks-by-country/rabies-risks-in-terrestrial-animals-by-country>

The Global Dispatch Inc., Outbreak News Today,

<http://outbreaknewstoday.com/> (参照 2019-08-30)

University of Minnesota, CIDRAP (Center for Infectious Disease Research and Policy),

<http://www.cidrap.umn.edu/> (参照 2019-08-30)

World Health Organization (WHO), Disease Outbreak News (DONs),

<https://www.who.int/csr/don/en/> (参照 2019-08-30)